

オンデマンド開催を行う上でのシステム要件

【参加登録】

- 参加登録時に氏名、所属以外に会員を識別するための救急医学会会員番号、e 医学会 I D、生年月日を取得する。
- 事前に救急医学会から取得する会員情報とシステム上、突合可能とする。

【オンデマンド受講受付】

- 学術集会参加登録者情報を参照し、受講者識別を行うことが可能なシステムとする。

【受講者記録】

- 救急医学会作成の参加記録フォーマットに必要事項を記録し、期日までに提出する。

【動画配信】

- 参加者数に応じ、対応可能な容量のW e b サーバー、ストリーミングサーバーを準備する。
- 1 講習につき座長討論含め 60 分以上の講演を事前に収録し、配信する。
- 収録は.mp4、.wmv、.mov 等の一般的な動画ファイル形式とする。

【試験問題作成】

- 試験問題作成要領に従い試験問題を作成の上、期日までに救急医学会に提出する。
- 提出前に試験問題の内容、難易度、表記等につき学術集会責任者が確認を行う。
- 規定時間の受講を満了した受講者のみ試験に進めるシステムとする。
- 試験問題は 80%以上の正答が得られるまで繰り返し受験が可能な形式とする。
- 回答後に設問毎に正解および解説の表示を行えるシステムとする。

【不正防止策】

不正を防止するための以下の対策をシステム上に構築する。

- 同一受講者の複数箇所からのログイン防止
- 同一受講者の複数講習受講の防止
- 早送り防止

受講者のログを確認し、ログ上必要要件を満たしていない受講者が試験へ進んでいないことを確認し、不正の可能性がある場合は調査の上、救急医学会へ報告する。

【トラブル対策】

- 受講者の個人情報、受講記録管理を厳密に行う。
- 配信中のトラブルをモニターし、学術集会で対応できる体制を構築する。
- 配信に伴うトラブルや不正の可能性のある事案を救急医学会に報告する。

【その他】

救急医学会よりアンケート調査等のシステム追加を依頼することがありますのでご協力をお願いいたします。